

へいせいじゅうねんど だいさんがつききまつこうさ だいにがくねんりか  
平成十年 第三学期期末考査、第二学年理科

一) 第一分野 電流による働き。

- (電流×電圧) で表される量を ( ) という。
- 電流による発熱量は、電力に ( ) し、電流を  $t$  秒間流したときの発熱量  $Q$  「cal」を求める式は  $Q = I^2 R t$  ( ) と表される。
- 電気器具などで、一定時間に消費した電力の量を ( ) という。
- 磁石の力を ( ) と言い、この力が働く空間を ( ) という。
- 導線に電流を流すと、導線のまわりに ( ) 状の磁界が出来る。
- 磁界の中電流が受ける力の向きは、磁界の向きと電流の ( ) で決まる。
- 又、流す電流を強くすると、電流が受ける力の大きさは ( ) くなる。
- コイルの中の磁界を変化させたとき、電圧が生じる事を ( ) と言い、そのとき流れる電流を ( ) という。この電流を強くするには、磁石を ( ) ( ) く動かしたり、コイルの ( ) ( ) を多くすれば良い。
- 一方の向きにだけ流れる電流を ( ) ( ) という。又、向きや強さが絶えず変化している電流を ( ) ( ) という。

二) 第二分野 天気の変化。

- 空気の重さによって生じる圧力を ( ) ( ) と言い、( ) ( ) 「記号」 ( ) ( ) という単位で表す。
- 快晴・晴れ・曇り等の天気は ( ) ( ) を観測して決める。
- 風が西から東へ向かって吹いている時、風向きは ( ) ( ) の風と言う。
- 一日の間で、気温が最高を示すのは ( ) ( ) 、最低を示すのは ( ) ( ) である。
- 一日の間で、気温の変化は湿度の変化と ( ) ( ) 的である。
- $1 \text{ m}^3$  の空気を含むことの出来る最大の水蒸気量を ( ) ( ) と言い、( ) ( ) によって変化する。
- 気温が下がって、空気中の水蒸気が ( ) ( ) し、水滴が出来始める温度を ( ) ( ) と言う。
- $1 \text{ m}^3$  の空气中に含まれる水蒸気量が、飽和水蒸気量の何%に当たるかを示したものを ( ) ( ) と言う。
- 性質の違う気団が接したとき、その境目を ( ) ( ) と言い、これが地表に接している所を ( ) ( ) と言う。
- 寒気が暖気の下に潜り込み、暖気を押し上げて進む前線を ( ) ( ) 、暖気が寒気の上に緩やかに這い上がりながら進む前線を ( ) ( ) と言う。